

**学習スタイル② 学習観 ～ 勉強ができるようになる考え方**



自分なりに一所懸命勉強しているのに成績が上がらない。いくらやっても勉強のおもしろさがわからない。そういう悩みを持つ人は少なくないでしょう。

学習心理学では、「学習とはどうすることなのか」という「学習観」が人によって異なり、それが学習の成果を大きく左右されると言われています。

そこで、あなた自身の「学習観」を明らかにし、勉強のおもしろさや成果につながる「望ましい学習観」を身につけるきっかけにしたいと思います。

**ワーク1 学習観チェック**

あなたがふだん学習するときのことをふり返って、それぞれの項目がどれくらいあてはまるか、「そうだ」～「そうではない」の中から選び、それぞれの数字に○をつけよう。

途中、数字の順番が逆になるが、数字を気にせず、上のことば通りつけること。

	そうだ	やや そうだ	どちらとも いえない	あまりそう ではない	そうで はない	
① ただ暗記するのではなく、理解して覚えるように心がけている	5	4	3	2	1	<b>A</b>
② 新しく習ったことでも、まえに習ったこととのつながりを考える	5	4	3	2	1	
③ 図や表で整理しながら勉強する。	5	4	3	2	1	
④ 勉強で一番大事なものは、暗記だと思う	1	2	3	4	5	
⑤ なぜそうなるのかはあまり考えず、暗記してしまうことが多い	1	2	3	4	5	

	そうだ	やや そうだ	どちらとも いえない	あまりそう ではない	そうで はない	
① 答えが合うだけでなく、考え方が合うことが大切だと思う	5	4	3	2	1	<b>B</b>
② ある問題が解けたあとでも、別の解き方をさがしてみることが多い	5	4	3	2	1	
③ テストでできなかった問題は、あとからでも解き方を知りたい	5	4	3	2	1	
④ 自分で問題の解き方を考えるのはめんどくさいと思う	1	2	3	4	5	
⑤ なぜそうなるのかわからなくても、答えが合っていればいいと思う	1	2	3	4	5	

	そうだ	やや そうだ	どちらとも いえない	あまりそう ではない	そうで はない	
① 勉強のしかたをいろいろ工夫してみるのが好きだ	5	4	3	2	1	<b>C</b>
② 成功した人や成績がいい人の勉強のしかたに興味がある	5	4	3	2	1	
③ テスト成績が悪かったとき、勉強の量よりも方法を見直してみる	5	4	3	2	1	
④ 勉強のやり方を変えても、効果はたいして変わらないと思う	1	2	3	4	5	
⑤ 学習方法を変えるのはめんどくさい	1	2	3	4	5	

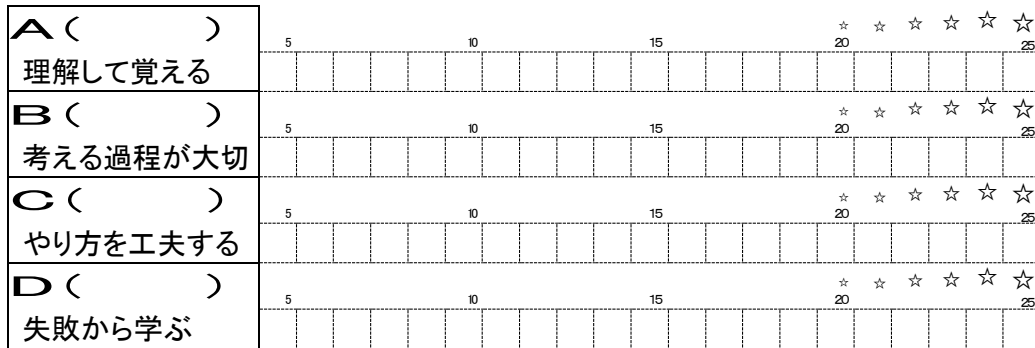
	そうだ	やや そうだ	どちらとも いえない	あまりそう ではない	そうで はない	
① 学習でうまくいかないときも、がんばって何とかしようとするほうだ	5	4	3	2	1	<b>D</b>
② 学習は、失敗をくり返ししながら、だんだんできるようになると思う	5	4	3	2	1	
③ 学習で思ったようにいかないときは、その原因をつきとめようとする	5	4	3	2	1	
④ 間違いをすると、恥ずかしいような気になる	1	2	3	4	5	
⑤ 学習でうまくいきそうもないと感じると、すぐやる気がなくなる	1	2	3	4	5	

市川伸一編著『認知カウンセリングから見た 学習方法の相談と指導』ブレーン出版 1998  
P190 「学習観を測定するための質問項目」を元に一部改変して作成

※回答が終わったら、○をつけた数字を見て、5問ずつの合計点を出し、A～Dの  に記入しよう。

## 7-72 自分の学習観の傾向を知ろう

- ①A～Dの数を（ ）内に記入する。
- ②A～D、それぞれの数のところまで点線の中を塗りつぶし、棒グラフを作る。
- ③グラフができたら、解説を読んでみよう。



〈解説〉 このグラフは、あなたが学習に対して、望ましい考え方ややり方をしているかどうかを表します。グラフが長いほど、効果的な学習のしかたが身についています。

以下の解説を読んで、自分の学習のしかたをふり返り、どうすればいいのか考えてみよう。

※なるほどと思うところに下線を引くとよい。

### A 理解して覚える

テストに出るからと、意味も考えずに覚えようとしていませんか。漢字の熟語はなぜその意味になるのか、数学の式はなぜその形になるのか、それを理解して覚えるように心がけてみましょう。

答えだけを丸暗記してしまう方が早い、と思うのはまちがいです。理解して覚えたことは確実に記憶され、応用もできるのです。

### B 考える過程が大切

選択問題で、たまたま選んだ答えがあっても、なぜそれが正解なのか説明できなければ、次に似た問題が出ても、正解できるとは限りません。大切なのは、答えを出す筋道です。

答えが合っていればいい、ではなく、なぜその答えなのか、納得がいくまで考えるようにすると、わかってきて勉強はおもしろくなります。

### C やり方を工夫する

勉強には、効果的なやり方とそうでないやり方があります。例えば、一夜漬けの勉強は、効果的でないやり方です。少しずつくり返し勉強したことほど記憶によく残り、使える知識になります。

漢字や英語を覚えるのもコツがあり、勉強のできる人は工夫しています。いろいろな方法を試し、自分に合うやり方を見つけることが大切です。

### D 失敗から学ぶ

授業中にまちがえたら、そのときこそ学習のチャンス。まちがえたところを理解しましょう。

まちがってもいいから、自分で考えて答えを出すこと。まちがえたあとに、もう一度よく考えてみる。「わからない」と言うことを恐れず、知らないことは先生や仲間いきいてみることを心がければ、必ず勉強はできるようになります。

### **ワーク3** 自分の学習観をふり返ってみよう

1) 一番高かった学習観は？

その学習観の表れとして、どんな科目でどんな学習のしかたをしていますか。

---

---

---

---

---

---

---

---

2) 一番低かった学習観は？

その学習観の解説を読み、自分の学習をふり返ってみよう。

① 解説の中でなるほどと思ったところを、抜き出してみよう。

---

---

---

---

---

---

---

---

② そのアドバイスを参考に、自分の学習のしかたをどう改善したいか、書いてみよう。

---

---

---

---

---

---

---

---

**みんなでワーク** 先生の指示でグループになり、結果を話し合おう。

**ふり返り** 今日の学習全体の感想を書いておこう。

---

---

---

---

---

---

---

---